

# 地域へ、そして世界へ — 平岸マイプロジェクトの挑戦

2026. 6. 15

平岸マイプロジェクトでは、生徒一人ひとりの「やってみたい」を大切にしながら、地域や社会の課題解決に挑戦しています。

月寒公園で自然の魅力を伝えるトンボ講師として活躍した生徒。そして、アフリカ・モザンビークの子どもたちの学びを支えようと募金活動に取り組む生徒。

活躍の舞台は違っても、その根底にあるのは「自分の学びを誰かのために生かしたい」という思いです。地域へ、そして世界へ。平岸高校生の挑戦は、今日も広がっています。

## 地域の自然観察会で講師として活躍！

6月14日(日)、月寒公園で開催された「自然観察会～野鳥ときどきトンボ編～」において、平岸マイプロジェクトのメンバーである3年生の大黒くんがトンボの講師として参加しました。

当日は、ボート池周辺や園内を巡りながら野鳥やトンボを観察。大黒くんは、参加者にトンボの種類や特徴を分かりやすく解説し、地域の自然の魅力を伝えました。参加者からは「トンボに興味を持った」「トンボを見る視点が変わった」といった声も聞かれました。

自らの探究活動で培った知識を地域に還元する大黒くんの姿は、平岸マイプロジェクトの目指す「学びを社会につなげる」実践そのものでした。



## モザンビークの子どもたちへノートを届けよう！

平岸マイプロジェクトのメンバーである2年生の中村さん、保川さん、平川さんが、アフリカ・モザンビーク共和国の子どもたちへノートを届ける募金活動に取り組んでいます。



この活動は、学校で学ぶために必要な学用品が十分に手に入らない子どもたちを支援しようと企画したものです。メンバーは国際支援について学ぶ中で現地の状況を知り、「自分たちにもできることがあるのではないか」と考え、活動をスタートしました。第1段階として7月10日の放課後に、取組やモザンビークの現状についてプレゼンを行いました。そして現在、7月3日・4日に開催される学校祭でのPRや募金活動に向けて準備を進めています。集まった募金は、モザンビークの子どもたちへノートを届けるために活用される予定です。

地域での活動に加え、世界の課題にも目を向けて行動する平岸マイプロジェクトのメンバーたち。自分たちの学びを社会につなげる挑戦が続いています。

地域での活動に加え、世界の課題にも目を向けて行動する平岸マイプロジェクトのメンバーたち。自分たちの学びを社会につなげる挑戦が続いています。